広報NOSAI福井

はなみ

2020.6
第61号

～穂波～
豊作の美しい景色が　毎年続きますように

特集

乗り切ろうコロナ

農業見聞　三つ星株式会社

備えの種をまこう。

特集

乗り切ろうコロナ

2020年、新型コロナウイルスの感染が拡大し、社会が激変しました。食べ物や花は私たちの体と心に力を与えてくれます。人との距離を保つ中、直売や宅配、通販などで農畜産物を届ける農業者、団体を取材しました。

生活はどうなった？

- 不要不急の外出自粛
- 人が集まらない
- 学校が休み（5月まで）
- イベントが延期、中止
- 観光客が来ない
- 労働力が減少

農業関係で消費が減ったもの

- 花
- 和牛などの外食用食材
- 給食用食材（5月まで）
- 農泊、観光農園

積極的な利用をお願いします

消費が増えた食品

- 家庭で消費する食品
- 簡単に食べられるものや保存できるもの
- 発酵食品
- 製菓材料

注目の消費スタイルは？

- 地産地消
- 直売、宅配、通販
- 支援、ふるさと納税
- 家庭菜園
- オンライン、キャッシュレス対応

その他

- 失業者の受け皿として、農業への就職を勧める支援ができた。

NOSAIの新型コロナウイルス対応

。新型コロナウイルスの影響で、収入保険の保険料等や農業共済の共済掛金等の支払いが困難な場合は、一定の期間を限度に、支払期限を延長することができます。

。加入手続きなどは、郵送やメールでの書類送付、電話での対応も行っております。

やっぱり！収入保険がおすすめです

収入保険は農産物の販売収入が減少した場合に補てんする仕組みです。販売価格の下落や労働力の確保ができない場合など、様々な営農リスクに対応します。

（詳しくは10Pをご覧ください）

感染症予防対策の基本

3密（密閉、密集、密接）を避け、こまめな手洗いや手指の消毒、咳エチケットを実施して感染症を予防しましょう。

「キンギョソウは年に２回花が咲く」と藤田さん。

藤田　貞雄 さん〈あわら市〉

切花とアレンジを直売

トルコキキョウ。出荷前の水揚げ

アレンジフラワー

「本来、切花の需要が多い3月にイベント自粛などで需要が減り、販売価格が下落してしまいました。一輪でも花があると華やぎ、居心地のよい空間になります。コロナ疲れが長期化する今、花に少しでも興味を向けてもらいたいです」と話すのは、44㌃で花を栽培する藤田貞雄さん。夏から秋にかけて、ヒマワリ、トルコキキョウ、テッポウユリ、小菊、キンギョソウ、春にはストックなどを出荷していきます。藤田さんは花の栽培に魅力を感じ、脱サラ。ふくい園芸カレッジと里親の元で研修を重ね、5年前に就農しました。

これまで、大型の台風や豪雪を経験して、ハウスが全損になることもあった藤田さん。今後も販売価格の下落が続き、採算が合わなくなることが一番の心配事です。今年から収入保険に加入して万が一に備えていますが「日常生活で花を飾る人が増えてほしい」と話します。

花は市場への出荷のほか、あわら市内の直売所でも販売しています。切り花だけでなく、妻の恵子さんが手がけるアレンジフラワーも人気です。直売所での販売は「家庭で花を飾る習慣がある」と手応えにつながっているそうです。

「花の栽培は教科書どおりにいきませんが、密とは無縁ですよ！」と笑う藤田さん。一人で無理なく作業を進めるために、播種時期を細かくずらすなど、計画的に栽培しています。

「今後は、八重咲きのトルコキキョウを軸に、ブランド力がある花を作っていきたいと考えています。生産者仲間を増やし、武生や奥越の菊のように、産地として認められることが目標です。アレンジフラワーの種類も増やして、花の魅力を存分に伝えていきたいです」

大きく咲いたヒマワリで遊ぶことも。種や花粉がなく、飾りやすい

（123 写真提供：藤田さん）

収入保険加入 藤田さんからのご質問

Q 収入保険に加入しましたが、加入者の多くが、収入減少した場合、保険金の支払いが増えることが予想されます。保険金が削減されることはありますか？

A 収入保険は公的な保険で、支払いが多いからといって保険金が削減されることはありません。ご安心ください。

NOSAI 福井
総合対策部長
高村

おうち焼肉セット（写真提供：牛若丸）

板張りの冷蔵庫内

牛若丸〈あわら市〉 若狭牛の直販

「和牛の価格が下がり、2年間のえさ代が回収できない状態です。サンビーフ齋藤の若狭牛は霜ふりのバランスが良く、きめ細やかな肉質が特徴です。店の営業を自粛した期間もありますが、これまでのお客さんに、持ち帰りなどで引き続き利用してもらっています。また、Instagram（インスタグラム）などウェブで情報をマメに発信することで、通販はコロナ禍前の2倍に伸びています」と話すのは、有限会社牛若丸産業代表取締役の齋藤力さん。坂井市三国町で父の俊雄さんと牧場、有限会社サンビーフ齋藤を営み、250頭の若狭牛を飼養する傍ら、2001年から精肉販売・焼肉店「牛若丸」を開き、生産者折り紙付きの肉を提供しています。

店の人気メニューをテイクアウトできるようにしたほか、弁当の宅配も始めました。時には、田んぼまで配達することもあるそうです。また、牛丼の具など温めるだけで食べられる若狭牛の加工品も充実させています。

精肉は店頭でカットして販売しており、ウェブサイトや楽天ショップ、自社アプリから購入することもできます。

「子牛やえさも県内から仕入れています」とサーロインブロックを手に齋藤さん。

住 あわら市舟津45-3-1
TEL (0776)77－1230
HP 牛若丸精肉店 検索
営 11:00～14:30
17:00～22:00
休 火曜日・第2水曜日

齋藤さんのおすすめ部位は、モモブロック。「500gぐらいの塊を常温にしてから、じっくり焼くとおいしいですよ。1kgにカットすることもできます」と話します。近年、赤身肉の人気が高まっているようです。ウェブサイトでも、おいしい食べ方やレシピを紹介しています。また自家製のローストビーフなどはふるさと納税の返礼品にも選ばれています。

ロゴデザインやブランド構築、プランニングを福井出身、東京在住のフードプランナー遠田明子さんに依頼しているため店は全体的にコーディネートされています。

「学生時代から、人付き合いを大切にしてきました。注文や新しい情報をもらえることをありがたく思います。丹精込めて育てた自慢の若狭牛で、みなさんに、パワーをつけてもらいたいです」

丹生膳野菜〈福井市〉 朝採れ野菜の直売

「初夏のおすすめは、シャキシャキ食感の越前レタスや織田キュウリ。朝採れ野菜を始め、米や卵、お惣菜など店内は幅広い品揃えです。コロナ禍で家庭での消費が増え、来客が1・5倍になりました。農業の生産現場を抱えていることが、直売所と小売店との違いです。出荷の際は、手指の消毒やマスク、手袋を着用してもらい、店内でも、密を避けるようにしています」と話すのは丹生膳野菜（にゅうぜんやさい）店長の上野誠さん。丹生郡全域と旧清水町、越廼村管内の生産者が四季折々の農産物を出荷しており、組合員がそれぞれの個性を発揮し、互いに刺激を受け合う場所となっています。

「野菜の宅配が全国的に増えていますが、朝採れ野菜を13時までの注文で当日発送できることや、栽培ルールを管理した安全安心の体制が独自の強みです」と上野さん。昨年リニューアルしたウェブサイトは季節の野菜や出来事に応じて随時更新され、通販は都市部を中心にリピーターが増えています。

「今後は、ウェブサイトで予約注文を受け、店頭で引き渡しできるような仕組みも考えています。JA福井県のスケールメリットを活かし、福井梅やメロンなど県内の特産物の品揃えを強化していきます」

定番から珍しいものまで地元の恵みが揃う。

住 福井市風巻町27-2 JA福井県
TEL (0776)98-3577
HP 丹生膳野菜 検索
営 9:00～18:30 休 水曜日

あばん亭〈小浜市〉 御食国の宅配弁当

「新型コロナウイルスの感染で世界中が大変な状態です。日頃からバランスのとれた食事をして、健康な体づくりをすることが大切です。献立には若狭湾でとれた魚を主菜に多く取り入れ、たんぱく質を摂取できるよう努めています。野菜の摂取量の目安は1日350g。少しでも多くの野菜を入れ、減塩にも心掛けています」と話すのは、あばん亭代表の小谷清美さん。地元の食材をふんだんに使った弁当を製造し、市内を中心に宅配しています。

従業員の平均年齢は68歳。地域の女性14名が家庭や畑の事情に応じて、交代で勤務し、昼時には約130個の弁当を製造しています。食材には従業員の畑でとれる旬の野菜や「株式会社若狭の恵」のコシヒカリを使っています。

伝承料理が入ることも特徴で、和がらしを使った「麩のからしあえ」やくずまんじゅうなどの食文化を楽しむことができます。

店は小谷さんが所有する空き家を利用して2008年にオープンし、11年から予約制のレストランも併設しています。

「畑だけで終わらず、弁当を宅配することで、地域貢献にもつながります。今後は、レストランの新メニュー考案や、夕食弁当の宅配も増やしていこうと思います。5月からInstagramを始めました。地域の食や店の魅力を発信していきたいです」

日替わり弁当は540円（税込）で提供。刺身入りのオードブルや仕出し弁当も対応できる。（写真提供：あばん亭）

住 小浜市本保23-26
TEL (0770)57-1039
営 予約制・不定休

第17回 通常総代会開催 全議案可決承認

6月6日に第17回通常総代会を感染症対策のため規模を縮小し開催。議長に末本勝志氏（鯖江市）を選任し、提案した全議案が原案どおり可決、承認されました。

◆9月から「保管中農産物補償共済」が始まります。

共済目的の品目を対象に、保管中の農産物や輸送中の農産物の共済事故による損害を補償します。※別途、お申込みが必要です。

NOSAI福井　組合長
千田　千代和

今般の新型コロナウイルスによる感染症の拡大は世界全体の生活や経済に大転換をもたらし、農業者にとっても大きな影響を及ぼしました。過去に例をみない自然災害が頻発している中、農業保険の仕組みは益々重要だと考えております。NOSAIは農業収入全体を補償する収入保険と従来の農業共済の二つの災害対策を担い、農業生産体制の幅広い支援に努めております。災害時に無保険の農業者を出さないように関係機関との連携を強化し、両制度を一体的に推進してまいります。

第17回通常総代会 提出議案

第1号議案 令和元年度 事業報告書、財産目録、貸借対照表、損益計算書及び剰余金処分案並びに不足金処理案について
第2号議案 令和2年度 事業計画及び業務収支予算書について
第3号議案 令和2年度 事務費賦課額及び徴収方法について
第4号議案 共済連絡員、損害評価員、損害評価会委員及び役員の報酬について
第5号議案 特別積立金取崩し限度額について
第6号議案 余裕金の預入先金融機関の指定について
第7号議案 借入金の最高限度額、借入先、借入利率について
第8号議案 危険段階別共済掛金率の設定について
第9号議案 定款及び定款附属書の一部改正について
第10号議案 事業規程の一部改正について
第11号議案 保管中農産物補償共済の再保険に係る基本契約書の締結について
附帯決議

事業推進功績者表彰

事業推進等に功績のあった方々に組合長から表彰状が授与されました。受賞されたのは次の皆さまです。

福井県農業共済組合長賞

農業共済事業推進功績者表彰

（制度普及の部）

有限会社　エッチジェイケイ（福井市）
農事組合法人　アバンセ乾側（大野市）
佐藤　貞昭（坂井市）
藤　善一（永平寺町）
桑原　一幸（越前町）
国久　博一（おおい町）
若狭西田倶楽部（若狭町）

（農機具共済の部）

内藤　隆暁（越前市）

※敬称略

令和元年度事業実績

令和元年度の実績は次のとおりです。

台風19号の強風で倒壊したハウス（勝山市）

10月の長雨で品質が低下した大豆（福井市）

台風10号の強風で落果したなし（若狭町）

台風10号の強風と大雨で倒伏した水稲（福井市）

シカの食害をうけた水稲（越前町）

＜事業実績＞

共済目的	引受		支払		
	引受戸数(戸)	引受数量	被害戸数(戸)	被害数量	支払共済金(千円)
水稲	12,086	20,661ha	339	185ha	40,078
麦	502	3,776ha	234	1,009ha	46,330
家畜	47	7,903頭	43	（死廃）229頭 （病傷）1,586頭	42,941
なし	54	21ha	21	6ha	5,365
かき	53	16ha	24	8ha	1,475
うめ	108	62ha	40	23ha	5,180
大豆	180	1,186ha	137	1,029ha	135,431
そば	480	2,201ha	146	645ha	12,764
園芸施設	897	3,616棟	44	63棟	9,431
建物	22,336	35,093棟	196	221棟	39,117
農機具	1,070	5,208台	75	99台	32,114
計	37,813	－	1,299	－	370,226

収入保険	引受		支払
	引受戸数(戸)	基準収入金額(千円)	
	757	13,328,030	随時支払中

令和2年度事業計画

令和2年度の計画は次のとおりです。

＜事業計画＞

		計画規模	引受率
農業共済			
農作物	水稲	17,000ha（25,400）	65%（97）
	麦	2,114ha（4,800）	44%（100）
家畜	死廃	5,505頭	94%
	病傷	2,655頭	82%
果樹	ぶどう	1ha（3）	17%（50）
	なし	17ha（26）	28%（43）
	かき	14ha（17）	64%（78）
	うめ	61ha（112）	22%（40）

		計画規模	引受率
農業共済			
畑作物	大豆	800ha（1,620）	44%（90）
	そば	1,710ha（3,000）	52%（91）
園芸施設	園芸施設	4,345棟	69%
任意	建物	35,300棟	36%
	農機具	5,250台	31%
	保管中農産物補償	35,000千円	0.3%
収入保険		1,200経営体	31%

※（　）内は収入保険加入者を含む。
※麦・果樹は令和３年産計画。

“備えあれば憂いなし。全ての農業者にセーフティネットを提供”

――方　針――

農業者の経営安定を支援する役割を十全に果たすため、関係機関、行政、生産団体等と推進体制の強化を目的に、推進協議会を設立し、収入保険と農業共済制度の一層の普及・定着に組織を挙げて取り組みます。農業者自らがリスクに備えることについての理解を広げ、全ての農業者にセーフティネットを提供できる体制を築きます。

農業者のニーズに応じた制度提案や農業経営の専門知識を習得し、資質向上を図るとともに、支援事業や地域と一体になった活動で農業者との信頼関係を強固なものとし、事業を展開します。

経費節減と業務の効率化が求められていることを踏まえ、組合運営の中期計画に基づき運営体制の改善を行い、コンプライアンス態勢の確立のため、内部監査機能を強化し、適正かつ効率的で健全な業務運営を行います。

農作物共済（水稲・麦）

- 令和4年産からの一筆方式廃止に向け、他方式への円滑な移行促進を図るため、加入意向調査を実施して、個別提案ができる体制を整えます。
- 一筆半損特約を推進して、補償の充実を図ります。

家畜共済（牛・豚）

- 新制度の周知を徹底して、補償の拡充を提案します。

果樹共済（なし・かき・うめ・ぶどう）

- 生産部会と協議しながら、農業者のニーズに即した引受方式の提案を行い、引受拡大を図ります。
- ぶどう引受開始に伴い、資格者への戸別推進を実施します。

畑作物共済（大豆・そば）

- 麦に次ぐ水田農業の基幹作物として、有資格者の把握を行い、これまで以上の引受を確保します。

園芸施設共済

- 未加入者に対し個別の加入推進を実施し、制度の普及啓発及び引受拡大を図ります。
- 災害に強い施設園芸づくりに関する協定締結による集団加入の推進により加入率向上を図ります。
- 危険段階別共済掛金率の適正な設定を行い、激変緩和措置の実施による急激な掛金引上げの緩和を図ります。

任意共済（建物・農機具・保管中農産物補償）

- 自然災害への補償ニーズに沿った推進を行います。（総合共済への切替え、特約の付帯）
- 農機具販売業者と連携した推進を行います。
- 口座未登録者解消への取り組みを行い、自動継続特約を推進します。

収入保険

- 経営状況を踏まえた重点推進を行い、年間を通じて農業共済制度と一体的に推進するとともに、青色申告の普及を図ります。

業務収支予算

支出

人件費　役員報酬、職員給与、法定福利費等

業務経費等　事務費、業務費、施設費等

収入

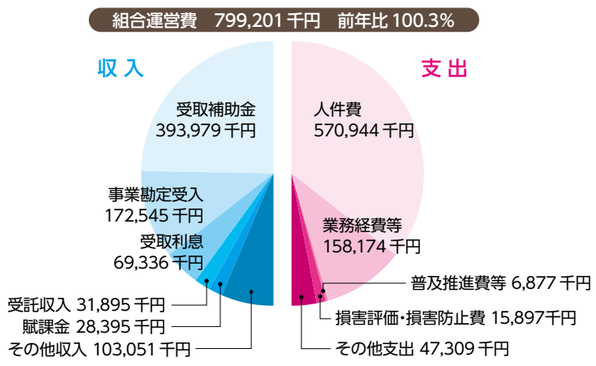
受取補助金　国・県からの補助金

事業勘定受入　任意共済賦課金、損害防止事業費として積立金取崩

受取利息　有価証券利息

受託収入　収入保険・一体化業務受託費

賦課金　共済加入者からの賦課金



農業共済支援事業

農業者のニーズに応じたセーフティネットの提案や、地域貢献を目的に、令和2年度は12の支援事業を実施します。

注目

スマート農業導入支援事業（新規）

後継者や労働力不足等の課題を解決するため、スマート農業の普及を図ります。県内全域にGPS基地局を整備し、自動運転農機の導入を促進し経営を支援します。

- 基地局機能確保のための通信用アンテナ及びサーバ機器等の設置
- 説明会及び現地研修会、広報活動などの普及推進活動
- スマート農業推進協議会と連携し利用促進を展開

担い手支援対策事業（継続）

担い手への側面的な支援を行い接点強化と連携を図ります。

- 農林水産支援センターが行う有料研修会を共催（10回）。担い手が受講しやすい体制を整備
- ホームページや「ほなみ」にて求人募集や6次産業化の広告を掲載

損害防止事業

頻発する自然災害や有害鳥獣害に備えて、被害の軽減と未然防止を図ります。

園芸施設共済耐久性向上支援事業（継続）

- 被覆材の強化として、張替費用を一部支援
  ※1加入者あたり5棟限度
  ①全面張替
  1棟当たり5千円～30千円限度
  ②部分張替
  1棟当たり5千円～15千円限度
- 施設補強費用の一部支援（新規）

鳥獣害対策事業（継続）

- 防護柵等の設置に市町が認定した総事業費のうち農業保険の加入割合に応じて受益者負担額の8％以内で助成
- 有害鳥獣による被害額の大きい集落を選定し、現地研修会を開催（関係機関との共催実施含む）

NOSAI 福井 facebook 投稿より

随時 facebook でお知らせしています。イイね！ シェアをお願いします。
坂井地域鳥獣害対策連絡会、福井県坂井農林総合事務所主催の「集落点検指導者育成研修会」に参加しました。（令和元年 6 月 25・26 日）農研機構 西日本農業研究センター鳥獣害対策技術グループ長 江口 祐輔 講師からイノシシ対策を学びました。ワイヤーメッシュ柵には表と裏があり、イノシシの行動範囲側に縦のワイヤーがあると壊されにくいようです。

12の支援事業

組織強化対策事業
- 関係機関・団体等連携強化事業

制度適正化事業
- 水稲基準単収改定事業

共済加入推進事業
- 引受総合対策事業
- 任意共済引受拡大事業

損害防止事業
- 園芸施設共済耐久性向上支援事業
- 鳥獣害対策事業

地域支援事業
- スマート農業導入支援事業
- 担い手支援対策事業
- 循環型農業（粉炭）検証事業
- ほなみ女性の会組織強化対策事業
- 肉用牛繁殖管理支援事業

広報活動事業
- 広報メディア活用強化事業

新型コロナウイルスに負けるな！

収入減少に備える 収入保険

新型コロナウイルス感染拡大の影響で外出自粛、休業要請など、私たちの生活や経済活動に大きな影響がありました。

収入保険は、これらの影響による農産物販売収入減少も補てんします。

新型コロナウイルスの影響で想定される収入減少のケース

【花き栽培農家】

ケース❶ 結婚式や各種イベントの自粛で花の注文が減少し、出荷できない。

【従業員を雇用する法人】

ケース❷ 職員の家族が、新型コロナウイルスの陽性と診断され休業中。人手不足となり、予定していた作付けができない。

ケース❸ 外国人実習生が帰国してしまい、現在の経営規模を維持できず、縮小せざるをえない。

【野菜栽培農家】

ケース❹ 契約しているレストランが営業自粛しており、納入できない。

ケース❺ 学校給食用の野菜を作付していたが、休校措置により販売が見込めず、売上の減少が見込まれる。

【共通】

- 受注が減り出荷できない。
- 販売先の事情で予定通りの出荷ができなくなった。
- 売り上げが見込めず、栽培を断念せざるを得ない。

こんな時はNOSAIへご連絡ください

- 収入減少が発生した場合
- 販売が見込めず、作付けを断念する場合
- 品目や面積など営農計画を変更する場合

令和3年からの加入申請受付中！

◆**収入保険とは…**
国の公的保険制度で、保険料等の補助があります。

◆**加入資格は…**
青色申告を行う農業者です。

◆**補償されるのは…**
農業者が自ら生産した農産物の販売収入全体が補償の対象です。（肉用牛、肉用子牛、肉豚、鶏卵は除く）
自然災害や価格低下だけでなく、農業者の経営努力では避けられない収入減少を幅広く補償します。

◆**補償の内容は…**
農業者ごとに、保険期間の収入が基準収入の9割を下回った場合に、下回った額の9割を上限に補てんします。

◆**加入がまだの方は…**
補償内容等の試算をおすすめします。

◆**コロナ禍の対応は…**
書類のやりとりは郵送やメールなど柔軟に対応できます。
電話やオンラインビデオ通話で説明することもできます。

「つなぎ資金」をご存知ですか？

収入保険には、つなぎ資金の制度があります。

これは、加入者の農産物販売収入が減少し、資金不足となった場合に、補てん金支払いまでの期間に資金を無利子で貸し出す制度です。

【貸出の要件等】

- 対象事故等による収入減少で、補てん金支払いが見込まれる場合です。
- 補てん金見込額の８割を上限に貸し出しが可能です。
- 詳しくはNOSAIにご相談ください。

「持続化給付金」との関係は？

新型コロナウイルスの影響で売り上げが減少した中小事業者などを支援する持続化給付金があります。事業の継続を下支えするための給付金で、売上げが前年同月比で50％以上減少している事業者を対象に、法人は最大200万円、個人事業者は最大100万円の給付を受けることができる制度です。

収入保険加入者が支給基準に該当すれば給付金の受給が見込まれますが、収入保険の補てん金と調整されることはありません。

園芸施設共済

「台風の備え」はできていますか？

NOSAIの園芸施設共済は農業者のニーズに合わせて、制度改正を重ねながら補償充実を図っています。加入されていない方は、ぜひご検討ください。

補償対象は

ハウス（本体と被覆材）に加えて、附帯施設、施設内農作物、撤去・復旧費用を選択して加入できます。

収入保険と園芸施設共済のセット加入がおすすめです。（この場合、施設内農作物は収入保険で補償することになります）

加入できるハウス

所有、または管理するハウスの設置面積が1アール以上ある場合に加入できます。（他の共済事業に加入されていれば、1アール未満でも加入できます）

補償期間は

共済掛金納入日の翌日から1年間です。（被覆材を撤去する未被覆期間も骨材等が補償されます）

掛金の割引でお得に加入

大きな被害に限定して掛金を抑えたい方に！

小損害不てん補（共済金の支払対象となる損害額の基準）は「3万円（もしくは共済価額の5％）」ですが、「10万円」、「20万円」、「50万円」、「100万円」を選択すると、掛金を少なくすることができます。小損害不てん補の額が大きいほど掛金の負担が軽減されます。

骨材が太いパイプハウスはお得になります

主要骨材のパイプの径が31・8㎜以上だと、掛金が割引されます。

集団加入等による掛金等の割引があります

生産部会等の集団がNOSAIと協定を結び、一斉加入受付を行うことで掛金が割引されます。

付帯すれば各費用を加算してお支払いします

撤去費用と復旧費用をご存じですか。加入内容に付け加えることで、いざという時の助けになるオプションです。

撤去費用とは

被害を受けたハウスを撤去する際にお支払いする共済金で、主にハウス本体の解体、廃材の搬出及び処分に要する費用が対象となります。

復旧費用とは

ハウスを復旧する際にお支払いする共済金で、復旧にかかった本体の部材代及び人件費等が対象になります。

建物共済

掛金そのままで補償が充実

建物共済の補償が左記のとおりパワーアップしました。掛金はそのまま、ご加入者の手続は不要で適用されます。令和2年4月1日以降の事故から対象となります。

補償拡充

失火見舞費用共済金

加入物件から発生した火災等により、第三者が所有する建物に類焼・汚損等の損害が生じた場合に、見舞金等に要する費用としてお支払いします。

これまで　20万円
↓
改正後　50万円に拡充！

新設

水道管凍結修理費用共済金

水濡れ損を生じていない水道管の凍結損害に対して、その修理費用を実費でお支払いします。

これまで　対象外
↓
改正後　10万円を限度にお支払い（1事故につき）

朗報です！

補償を充実させたいというニーズに応え、9月から制度が変わります。

3つのポイント

①補償割合の引上げ

現在の共済価額の8割上限から、特約に加入することで10割まで選択が可能になります。

②小損害不てん補の引下げ

現在の3万円下限から、1万円が追加されます。小さな被害も補償できるようになります。

③復旧費用の補償の引上げ

耐用年数経過後の施設の補償割合の上限が現在の75％から100％に引上げされます。復旧に対する支援の充実を図ることができます。

オススメ！

特約を附帯してさらに補償を充実しませんか？

小損害実損てん補特約

損害の額が30万円以下の場合に、損害の全額をお支払いします。建物共済に1、000万円以上ご加入の方が契約に附帯できます。

- 一般木造住宅の場合、左記の追加で附帯できます。
  火災共済＝850円
  総合共済＝2、460円

水稲共済

加入方式をご検討ください

農作物共済の一筆方式は、法改正により令和４年産より廃止となります。

近年、思いもよらない甚大な災害が発生しています。ご自身に合った加入を選択して災害に備えましょう。

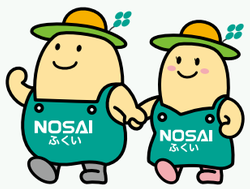
●加入方式意向調査にご協力ください

水稲共済加入者を対象に、次年産（令和３年産）からの加入方式意向調査を実施します。

選択できる加入方式は、乾燥調製や出荷状況等によって異なります。調査結果をもとに個別に加入方式をご提案します。

また、水稲育苗ハウスに関する調査も併せてご回答ください。

左記の補償選択ガイドで、加入できる方式がわかります。



【補償選択ガイド】

ステップ1 青色申告をしている
- はい → 収入保険
- いいえ → ステップ2

ステップ2 全収穫量が乾燥調製施設における計量結果により確認できる
- はい → ステップ3
- いいえ → 地域インデックス方式 / 半相殺方式

ステップ3 減収量だけではなく、品質の低下も補償対象としたい
- はい → 品質方式
- いいえ → 全相殺方式

ステップ4

収入保険	品質方式	全相殺方式	地域インデックス方式	半相殺方式
保険料等	掛　金 319円/10a	掛　金 336円/10a	掛　金 88円/10a	掛　金 126円/10a
基準収入金額：100万円 保険料等：32,500円 ９割補償 保険方式８割	500kg/10a 9割補償 補償額：87,750円	500kg/10a 9割補償 補償額：87,750円	500kg/10a 9割補償 補償額：87,750円	500kg/10a 8割補償 補償額：78,000円
青色申告実績から農産物販売金額を基に引受。 青色申告実績で評価。	過去の出荷量等の実績（おおむね全量出荷を原則）を基に引受。 JAなど乾燥調製施設の出荷資料で評価。	JA など乾燥調製施設における計量結果（全量）を基に引受。 JA など乾燥調製施設の出荷資料で評価。	過去５ヵ年の市町別統計データを基に引受。 国が公表する地域統計データを用いて評価。	耕地ごとに平年収量を設定し、農業者単位で引受。 被害申告により見込収穫量を調査し農業者ごとの減収量の合計により評価。

※掛金は一筆半損特約付を表記しています。

職員配置図（令和２年４月１日現在）

４月１日付けで、人事異動を行いました。これからも収入保険、農業共済の普及定着に努めてまいりますので、ご理解とご協力をお願いします。職員の配置は次のとおりです。

- 参　事：岩居 俊伸
  - 監査部　部長 北島 幸夫
  - 総務部　部長 石川 宏二
    - 業務支援室　室長(兼) 石川 宏二
    - 総務G
      - リーダー 山本 珠世
      - サブリーダー 鈴木 美香
      - 主査 黒田 和孝
      - 主事 千秋こころ
      - 主事 田中 夕貴
      - 主事 森山 竜次
      - 全国連出向 部付 雨塚 喜之
    - 企画G
      - リーダー(兼) 山本 珠世
      - サブリーダー 田中 克典
      - 主査 廣木 顕子
      - 主事 山本将太郎
    - 室員 嵯峨 弘司
    - 室員 土田 美香
    - 室員 三田村智陽
  - 保険部　部長 杉本 謙治
    - 農機具査定室　審査監 野路 六男
    - 作物保険G
      - リーダー 長谷川公紀
      - サブリーダー 堀　智行
      - サブリーダー 澤井 昭典
      - 主事 田辺明日美
    - 資産保険G
      - リーダー 石塚 博岳
      - サブリーダー 友田 政直
      - サブリーダー 福嶋 徳彦
      - 主査 筑摩　淳
      - 主事 中嶋 満徳
  - 総合対策部　部長 髙村 博士
    - 推進対策室　室長(兼) 髙村 博士
    - 収入保険G
      - リーダー 川治　功
      - 主事 竹下 真弘
      - (兼) 中川 晶充
      - (兼) 伊藤 佑一
      - (兼) 塚本 圭祐
      - (兼) 嶋崎　奨
      - リーダー 山﨑 健治
      - 専門員 吉田 和文
      - 専門員 河上 佳人
      - (兼) 羽生 恒美
      - (兼) 大久保雅市
  - 家畜診療所　所長 仲村 和典
    - 主査 大森 慎一
    - 主事 端　泰男
  - 第１事業部　部長 木下 俊毅
    - 奥越連絡所　相談員 羽生 恒美
    - 福井・奥越G（福井市・大野市 勝山市・永平寺町）
      - リーダー 山野真紀子
      - サブリーダー 加藤 智也
      - サブリーダー 川端 謙介
      - 主査 宮川 泰広
      - 主事 塚本 圭祐
      - 主事 川嶋　隆平
      - リーダー 竹内 香里
      - サブリーダー 松北 光晃
      - サブリーダー 木下 寛昭
      - サブリーダー 松下 勝久
      - 主事 田﨑 康洋
      - 主事 坂田 貴志
  - 第２事業部　部長 吉田 秀幸
    - 丹南G（鯖江市・越前市 池田町・南越前町 越前町）
      - リーダー 坊　芳明
      - サブリーダー 銅　浩靖
      - 主査 小林 清英
      - 主事 伊藤 佑一
      - 主事 岡田 亮太
      - リーダー 高岡 正和
      - サブリーダー 梅田 知宏
      - 主査 堀田 泰央
      - 主査 松村 康佑
      - 主事 西村 優花
  - 第３事業部　部長 宮川 孝幸
    - 坂井連絡所　相談員 大久保雅市
    - 坂井・あわらG（坂井市・あわら市）
      - リーダー 戸田 晃嘉
      - サブリーダー 山田 晃司
      - 主査 岸本 美幸
      - 主事 橋本 孝治
      - 主事 嶋崎　奨
      - リーダー 水野 貴代
      - サブリーダー 河端 友彦
      - 主査 山本 啓司
      - 主事 土田 佳紀
      - 髙嶋 拓偉
  - 若狭支所　支所長 坂本　進
    - 若狭G（敦賀市・小浜市 美浜町・高浜町 おおい町・若狭町）
      - リーダー 大久保信秀
      - サブリーダー 長谷川 諭
      - 主査 笠原 建二
      - 主事 東　裕晃
      - リーダー 中村 好克
      - サブリーダー 富田 敏夫
      - サブリーダー 加茂　久
      - 主査 中川 晶充

新採用職員（令和２年4月1日付）

総務部
総務グループ
主事　森山 竜次

人々の暮らしを「食」という分野で支える農業。農業者のみな様を支えるNOSAIの一員となって、2カ月が経ちます。自分の仕事が人々の暮らしを支える大きなサイクルの一部となっていることに誇りを持ちながら、一層職務に精励していきたいと思います。

総務部
企画グループ
主事　山本将太郎

最新の技術で、作業を効率化するスマート農業の普及に興味があります。これから、農業者のみな様のお役に立てるような情報を適切にお届けできるように、内容を深く理解して、ホームページやfacebookなども活用しながら情報発信できるようにがんばります。

年々、暑くなっている夏を越すことを重視し、ハウス内は気化熱冷房を導入して真夏でも 32℃ほどだという

“品質の良い農産物を作るだけでなく、生産に携わる人や地域全体が良くなるよう持続可能な農業を目指したい”

三つ星株式会社　代表取締役　冨田　美和 さん

三つ星株式会社〈坂井市坂井町下兵庫〉
2018 年設立。高収益な作物・栽培体系への転換を図る取り組みを総合的に支援する産地パワーアップ事業に採択された高度環境制御栽培施設を運営している。50㌃・10 連棟のハウスでトマトと 4.5㌶の水田で白ネギを生産している。

「スマート農業を動かす若い世代に期待しています」と制御盤を操作する美和さん

都会から移住して農園経営

「一面に農地が広がる環境に驚きました。都会と同じ生活ができないなら、田舎でしかやれない事をやろうと決めました」と愛知県出身の美和さん。以前は大阪に住んでおり、２０１４年に共に代表取締役を務める夫の真人さんの実家がある坂井市に移住した。美和さんは大規模施設園芸の経営を視野に「ふくい園芸カレッジ」でミディトマトやメロンなどの基本的な栽培技術を学び、17年にハウス2棟で就農。「トラクターの操作に一番苦労しました」と振り返る。日本全国へ視察を繰り返し、日本海側では栽培、関東や太平洋側では労務管理などのノウハウを勉強し、規模拡大を実現させた。

「男性は畑仕事、女性は細やかな作業が得意な面があり、一人一人が活躍しています」と美和さん。真人さんは白ネギの栽培を中心に担当しており、美和さんは経営全般とハウス内環境データの解析・制御を行っている。従業員は設立時にハローワークで募集した13名で、女性従業員6名の目線を活かし、パッケージと箱のデザインを考案した。「製造業などの異業種と同じような労務環境を」と農作業はマニュアル化され、誰もが作業に入れるようにしており、クラウド型農業支援システムのアグリノート（ウォーターセル株式会社）で作業記録を管理している。ハウス内には音楽や時報、作業終了5分前のアナウンスが流れ、作業に集中しやすい環境を整えている。

ハウスからは音楽が聞こえてくる

県内外へ出荷されるトマト

レールの上を走る高所作業車に乗って作業が進められる

三つ星★★★ トマトレシピ

【材料】
トマト
玉ねぎ
牛肉（薄切り）
油・塩

美和さんがペルーの友人から教えてもらったレシピを紹介します。

① フライドポテトを作る。
② フライパンで玉ねぎと牛肉を炒める。
③ ②にフライドポテトとトマトを入れてさっと炒め、塩で味付けする。

130トンのトマトを生産

同社は昨年、トマト130㌧を生産した。品種は「りんか409」で4月から12月末にかけて収穫している。椰子を用いた培地に地下100メートルから汲み上げる水を使って栽培しており、水は多い時で1日に3万㌧を使う。「肥料の取り扱いには化学の知識が必要。専門的で難しい」と話すが、肥料は独自に混合しており、コスト削減につなげている。毎月普及指導員の巡回があり、専門家を招いてもらうなど、地域のバックアップも手厚く「農業初心者の集まりが初年度から高い実績を出すことができたのは人に恵まれたからこそ。目標は150トン」と意気込む。

「環境制御はミスを避けたい大事な部分。複合的でマニュアル化が進んでいません。近くで環境制御栽培に取り組む仲間が増えて、情報交換ができるようになると、産地としてもっと活気付くと思います。水田地帯には異色の新しい農業ですが、地域の方に受け入れてもらい感謝しています。トラクターが動かない時には、近所の方に貸してもらったこともあり、助かっていることが多くあります。まずは良い物を多く収穫し、経営を安定させて徐々にレベルアップしていきたいです」

新連載

スマート農業が未来を変える

スマート農業とは…
ロボット技術や情報通信技術（ＩＣＴ）を活用し、省力化・精密化や高品質生産の実現を推進している新たな農業のことです。

農業の現状と課題

農業就業人口はここ20年で、２０４万人減少、平均年齢は66・4歳と高齢化が進み、労働力不足が深刻です。

経営面積が拡大し、１人あたりの作業面積を効率的に拡大するような技術革新が必要となっています。

国では…
農業分野におけるＩＣＴ、ロボット技術の活用を推進し、２０２５年度までに担い手のほぼ全てがデータを活用した農業を実践することを目標としています。

県内では…
農林水産省の「スマート農業技術の開発・実証プロジェクト」を活用し、県内３か所で実証実験をしています。農機の自動走行による作業時間の削減や、ドローンを活用した効率的な施肥で収量アップといった効果が表れています。

県内のスマート農業実証事例

小浜市

ドローンに搭載した特殊なカメラによる上空からの生育調査

ロボット農機による高能率な作業の実現や生育、収量等のバラツキの可視化等により、農業者自らがデータに基づき、収量・品質の向上等に繋げることができる農業経営の確立を目指して実証中

坂井市

ロボットトラクタとの有人 - 無人協調代かき

自動運転農機を組み合わせた有人 - 無人作業体系を構築し、大規模水田農業経営における作業競合に対応した適期作業体系の実現を実証中

鯖江市

自動運転コンバインの作業状況や収量・品質データを取得

未熟練作業者であっても効率的に高収量を可能とするため、自動走行農機等による作業精度向上、作物の生育や水管理状況のモニタリングを実証中

スマート農業で、できること
作業の省力化・軽労化
作物の生育や農作業の見える化 ↓ 規模拡大
栽培技術継承

例えば…
◆ＧＰＳ機能を活用した自動走行システムの導入で、今後、農機の複数・自動走行が可能に。
◆熟練農業者の農業技術をＩＣＴ技術により若手農業者に技術継承が可能に。
◆センシングデータの活用・解析で、農産物の生育や病害を予測。効率的な施肥・防除が可能に。
◆スマホで操作する水田の水管理システムなど、作業を自動化。

（引用　農林水産省ＨＰ）

広告

JA福井県福井基幹支店
ほうれんそう専門部会
越前ほうれんそう
越前こまつな
越前みずな・越前しゅんぎく
お買い求めはお近くのスーパー・量販店で

「ふくいの家庭菜園 改訂版」
福井の風土に合わせた家庭菜園のガイドブックです。
好評発売中！

野菜・花・果樹
53種を掲載
価格 400円
お求めは企画グループへ TEL（0778）53－2701
NOSAI 福井本所、支所、連絡所にてお渡しします。

表紙紹介

藤田　貞雄 さん（あわら市）

「ヒマワリは人に元気を与える花だと思います」と藤田さん。６種類、１万本のヒマワリを栽培しています。

収穫は根ごと土から抜き、根を切って水を吸わせてから、長さを揃えて、葉を落として調製していきます。

今後の予定

6月
- うめ損害評価
- 広報紙「ほなみ」発行
- なし・かき掛金納入期限（30日）

7月
- 秋そば加入申込期限（15日）
- うめ掛金納入期限（20日）
- 水稲掛金納入期限（31日）
- 大豆掛金納入期限（単作15日、麦跡31日）

8月
- 水稲損害評価（10月まで）
- なし損害評価

9月
- 広報紙「ほなみ」発行
- 麦加入申込期限（18日）
- 秋そば掛金納入期限（30日）

※収入保険の加入受付は随時行っています。

編集後記

新型コロナウイルスの影響を受けられた方へお見舞いを申し上げます。

今年は東京オリンピックを予定していたこともあり、コロナ禍など思ってもないことでした。大変なこともありますが、様々な仕事が功を奏して、より良くなるように願っています。（廣木）

－新連載－

ふくいのHAPPY

家庭菜園

小林　一夫 さん　**啓子** さん〈鯖江市〉

菜園歴40年の小林さん夫妻。メガネ仕上げの仕事の傍ら、12㌃の畑で、キュウリやナスなどの夏野菜、じゃがいも、自然薯、長芋、ネギなどを栽培し、ハウスではトマトや葉物野菜を栽培しています。山から流れてくる水の水路にはクレソンやカラー、花菖蒲が自生しています。

「おいしいと言われることがとてもうれしい」と夫妻。野菜は市内の直売所へ出荷することもありますが、多くは親戚や県外の取引先などへ送られています。

種から育てること、おがくずたっぷりの乗馬クラブ厩舎（きゅうしゃ）の敷料を半年ほど寝かせて肥料として使うこと、農薬を使わない所が栽培の特徴です。

「ないのはキノコぐらい」とほとんどの野菜を自給しています。

発行

安心のネットワーク NOSAI福井

福井県農業共済組合

＜ご意見・お問い合わせ＞　＜facebook　NOSAI福井＞

イイね！シェアお願いします。

本　　所　0120-83-2701
〒916-0036 鯖江市横越町18-41-1
TEL (0778) 53-2701㈹
FAX (0778) 53-2705

■福井・奥越グループ　TEL (0778) 53-2702
福井市・大野市・勝山市・永平寺町

■丹南グループ　TEL (0778) 53-2704
鯖江市・越前市・池田町・南越前町・越前町

■坂井・あわらグループ　TEL (0778) 53-2712
坂井市・あわら市

■家畜診療所　TEL (0778) 53-2719

若狭支所　0120-56-5312
〒917-0241 小浜市遠敷49-1-2
TEL (0770) 56-5300㈹
FAX (0770) 56-5306
敦賀市・小浜市・美浜町・高浜町・おおい町・若狭町

奥越連絡所
〒912-0083 大野市明倫3-37
TEL (0779) 64-4020

坂井連絡所
〒919-0526 坂井市坂井町上兵庫40-15
TEL (0776) 72-0078
FAX (0776) 72-0085

ホームページアドレス https://www.nosai-fukui.jp/